

高知市男女共同参画推進プラン2021令和6年度個別事業実施状況報告に対する質問及び回答

資料1

事業 No.	事業名	質問	回答	担当課
29	男性職員の子育て参加の促進	(達成状況・その要因について) 市職員で育休を取得していない男性職員の理由等はどうか。	令和6年度に市の男女共同参画推進本部部局推進委員会が行った育休を取得しなかった男性職員へのインタビューでは、男性職員から「長期間職場を離れることへの不安。」「人数の少ない職場で迷惑をかけると思った。」「仕事が忙しく休める状況ではなかった。」といった理由が挙げられた。 また、市の職員を対象に実施したアンケート調査において、育児休業を取得していない男性職員にその理由を尋ねたところ、「業務繁忙により職場に迷惑をかける」(24.0%)が最も多く、次いで「自分以外に育児をする人がいる」(21.3%)、「収入が減少し、家計に影響する」(15.4%)という結果であった。(N=886名)	職員厚生課 人権同和・男女共同参画課
29	男性職員の子育て参加の促進	(自課評価について) 自課評価がBとなっているが、活動指標をもとに評価するならば、A評価でよいのではないか。	活動指標(①子どもが生まれる予定の男性職員による育児休業等取得計画作成の他、所属長等による取得勧奨、育児に関する各種制度の相談窓口の設置等を行う。②育児休業取得者名簿(男性)や、育児休業体験記等、庁内掲示により情報提供を行う。)は達成しているものの、高知市特定事業主行動計画に定める数値目標である「高知市男性職員の2週間以上の育児休業取得率85%」を達成していないため、B評価とした。	職員厚生課
37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	(活動指標の達成状況について) 就職率が6割を超えていない背景を教えてください。	ひとり親家庭支援センターの職員から、相談者の就労意欲や、希望する働き方と就職先の条件のミスマッチ(たとえば、スポット的な就労を希望しているが企業側はスポット採用を行っていない、など)が原因で就業につながっていないケースがあると聞いており、子育て給付課では、こうした事情が、就職率が6割を超えていない背景の一因ではないかと考えている。	子育て給付課
37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	(達成状況・その要因について) センター利用者の満足度とあるが、どこに満足しているのか。	「ひとり親家庭支援センターご利用アンケート」において、センター利用の感想について、「良い」から「不満」の5つから選択する形で質問しているものであり、どこに満足しているかは不明である。	子育て給付課